



「医療と劇場とAIと」をコンセプトに 地域に賑わいをもたらす新病院

高度急性期の2病院の病床数を減らさず合併
AIの活用や情報の一元管理による医療の質向上と
劇場や企業と協力し、地域に賑わいをもたらす病院をつくる

vol.64

病院新時代

医誠会国際総合病院の新たな視点

- 賑わいをもたらす病院づくり
- AI・ITを活用し、質の向上を図る
- 先進医療の充実で治療の選択肢を増やす

1 フリーアクセスの医局 2 AI調剤システムで処方時間の短縮を実現 3 高度急性期にも対応するために救急部門も充実した体制を敷いている 4 同一の建物内に病院と劇場が併設されている 5 患者の動線を第一として、CTなどを分散配置。看護師の作業スペース「セルビット」も各所に配置し迅速な対応を可能としている 6 ゲノム医療において屈指の知名度を誇る三木義男特任副院長らによるサロンがオンラインを通じて海外と同時開催 7 谷美智子・経営戦略企画室長

医療法人医誠会

医誠会国際総合病院

(大阪市北区)

中央管制システムを置くことで、入退院支援や手術室の管理などを一元管理。稼働の効率化を実現している



医療法人医誠会
医誠会国際総合病院
住所：大阪市北区南扇町4-14
TEL：0570-099166
病床数：560床
診療科：42科
職員数：1820人

開院から約半年が経過し、谷室長は「新たに開設が控える診療科や近くに建設中の医誠会プレジジョン医療センターもあるため、今後さらに力を発揮できる環境を整え、高度急性期病院としての役割を担っていきます」と展望を語った。

「賑わい」をもたらすことを条件に用地を落札した経緯もあり同院のコンセプトは「医療と劇場とAI」となった。新病院の開設を主導した谷美智子経営戦略企画室長は、「賑わいの実現のためテクノロジーとヒューマンティーの融合と調和を意識しました。病院は治療のためのテクノロジーが重視される場で、病院単体では賑わいをもたらすことは難しいと考え、ヒューマンティーを表現する劇場や作品展示用のスペースを運営する地元のミュージアムと協力し、劇場の併設や過去に桜の名所と呼ばれた当地の復元のために桜の植樹を行いました」と話す。

医療面では、理念に基づいて、▽医療安全に配慮した質の高い標準医療の提供、▽低侵襲医療による早期の社会復帰の実現、▽ゲノム医療を基盤とする個別化医療の推進、▽AI・ITを活用した効率的・効果的医療の実践、▽国際医療交流の推進と地域活性化への貢献——をめざしている。

質の向上においては、AI・ITの活用で各職種が本来業務に専念できる環境の構築を行っているという。「人材の充実に合わせて、ロボット手術などの低侵襲医療による患者さんの早期の社会復帰支援や再生医療、ゲノム医療などの先進医療の充実による治療の選択肢を増やす取り組みも進めています。また、国を越えた患者会も行っています」(谷室長)

療法人医誠会は8つの病院など27施設を運営。総ベッド数3076床を有し、高度急性期から慢性期、精神科まで幅広い診療機能を西日本全域で提供している。2023年10月には大阪市内で急性期診療を担ってきた医誠会病院と城東中央病院とが合併統合。病床数を減らさず医誠会国際総合病院として大阪市北区に開院した。

「賑わい」をもたらすことを条件に用地を落札した経緯もあり同院のコンセプトは「医療と劇場とAI」となった。新病院の開設を主導した谷美智子経営戦略企画室長は、「賑わいの実現のためテクノロジーとヒューマンティーの融合と調和を意識しました。病院は治療のためのテクノロジーが重視される場で、病院単体では賑わいをもたらすことは難しいと考え、ヒューマンティーを表現する劇場や作品展示用のスペースを運営する地元のミュージアムと協力し、劇場の併設や過去に桜の名所と呼ばれた当地の復元のために桜の植樹を行いました」と話す。

医療面では、理念に基づいて、▽医療安全に配慮した質の高い標準医療の提供、▽低侵襲医療による早期の社会復帰の実現、▽ゲノム医療を基盤とする個別化医療の推進、▽AI・ITを活用した効率的・効果的医療の実践、▽国際医療交流の推進と地域活性化への貢献——をめざしている。

写真=中野 珠